

読者コーナー「ホッとtime」

「読者コーナー・ホッとtime」は、皆さんが大事にしている「座右の銘」(常に自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉)や、是非とも他の方にも紹介したい「おすすめの〇〇」を、読者の皆さんから応募していただくコーナーです。

私の座右の銘

「置かれた場所で咲く」

私が大切にしている言葉に「置かれた場所で咲く」があります。この言葉は、自分が今いる環境や状況に適応し、その中でできることを見つけて最大限の力を発揮する、という姿勢を教えてください。

環境が変わることで、新しい視点や可能性に気づく瞬間があります。新しい環境に適応する中で出会った人々や経験が、今の私を形作る大切な要素になっていると感じています。

私が参加している劇団レインボーには、年齢や職業、経験が異なるさまざまなメンバーが集まっています。それぞれが持つ異なる視点や考え方に触れる中で、最初はうやうや自分の役割を見つければよいのか戸惑うこともありましたが、そんな中でも、「置かれた場所で咲く」の考え方を大切にして、相手を尊重し、自分にできることを精一杯やるという姿勢を心掛けることで、次第に自分の役割が見えてきました。

この考え方は、劇団の活動だけでなく、仕事や日常生活にも通じています。もともとこだわりの強い性格で、転勤の多い今の職場では、新しい環境で仕事や人間関係を一から築き直すことに苦労することもありました。構えず、自分にできることを一つずつ進めることで、周囲との関係が整い、また新しい道が自然と開かれるものなのだと思えています。一見、自分にとってマイナスに感じられる場面でも、「これは自分の心を育てる機会」と前向きに捉えて、穏やかな気持ちで物事に取り組むようにしています。

これからも、「置かれた場所で咲く」という姿勢を忘れずに、どんな環境でも、出会いや出来事を力に変えて、自分らしい未来を作っていきたいと思っています。

(たまり場はれっと 劇団レインボー ボランティア 森田紗弓)

◆おすすめのバリアフリースポット◆

みなさんは、電車に乗る時、ホームと車両の段差を気にしたことはありますか？車椅子を使っている人には、実はこの段差って、とても困る存在なのです。一人では乗り降りできないので、スロープを用意してもらい乗り降りしています。駅員さんの負担にもなるし、途中で用事を思い出しても、すぐに別の駅で降りることもできない。単独で乗ればどんだけ楽か・・・とつい思っちゃいますね。

そこで今回紹介するのは、大阪の地下鉄のバリアフリーです。大阪の地下鉄のホームドア設置駅には、必ず写真のような段差解消のためのスロープがあります。ホームと車両の段差がほぼないので、車椅子やベビーカーでも一



人で楽々乗り降りができます。しかも、すべてのドアの位置についているため、好きな号に乗ることもできます。他都市と比較しても、ここまで徹底したバリアフリーは珍しく、交通省からバリアフリー化推進功労者表彰を受賞した位、とても先進的で素晴らしい設備です。2025年は、いよいよ大阪・関西万博の年です。55年ぶりの大阪での万博、バリアフリーで快適な地下鉄に乗って、みなさんも万博に行かれてみてはいかがでしょうか。

(たまり場はれっと ボランティア 飯尾卓)

●「読者コーナー・ホッとtime」では、「私の座右の銘」や「おすすめの〇〇」を、読者の皆さんから募集しています。なぜその言葉を選んだのか、どんなところをおススメしたいのか、200文字程度で書いてどしどし応募して下さいね。応募は、FAX(03-3409-3790)またはpalette@npo-palette.or.jpまで。(編集部)